

51 ダイシャクシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Numenius arquata

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州北部では旅鳥、本州中・南西部、四国、九州では旅鳥または冬鳥。沖縄では冬鳥。兵庫県では主に3-5月と8-11月に見られる。主に干潟や河口に生息するが、海岸に近い干拓地の湿地や農耕地などでも見られる。主に大型のカニ類を好んで採食する。



写真提供:三木敏史

国内分布

北海道、本州北部、本州中・南西部、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

姫路市、(西宮市)、(伊丹市)、加古川市、高砂市、淡路市、たつの市、(香美町)



生息確認時期
 ■ 2003年以降
 ▨ 2002年以前

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
 かつては県南部に少数が定期的に渡来し、稀ではあるが越冬例もあった。近年は個体数も分布域も減っており、阪神地域や播磨西部地域で少数が記録される程度となっている。県北部での記録は稀である。



写真提供:三木敏史

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。



写真提供:三木敏史